

平成 30 年 忘年会報告

辻本 信一

平成 30 年 12 月 10 日 (月)、平成最後の忘年会を、昨年同様、ホテルリガーレ春日野にて開催いたしました。ただし、女性の皆さまが参加しやすいよう、今年は開始時刻を正午に早めました。

その甲斐あり、参加者 44 名のうち女性は 17 名となり、昨年より多くの参加がありました。



【鈴木会長開会挨拶】 【菊川様乾杯ご発声】

定刻 12 時、鈴木会長による開会のあいさつで忘年会の幕が切って落とされました。

ご挨拶の中では、ある会合において会員数 172 名と言う当会の盛況ぶりの理由を問われ、金子みすずの詩「私と小鳥と鈴」より「みんな違って、みんないい」の一節を引用、また会員の皆さまが人生の「リセットボタン」をしっかりと押され、「皆さまそれぞれが主役」となって活躍されていることとの説明がなされたことが紹介されました。

菊川様による乾杯のご発声のあとしばらく歓談と会食をたのしんだ後、青木・桜木・戸田 3 幹事企画による楽しいゲームがはじまりました。



【ゲームに興じる参加者】 【してやっつりの 3 幹事】

ゲーム内容は、抽選で選ばれた二人一組のペアによるからだを使つての「風船割り」。10 名が選ばれ、風船の割れる音に戦々恐々。中には男同士でしっかりと抱き合う姿もあり、会場は爆笑の渦。参加者にはねぎらいの豪華景品もあり、参加者も最後は笑顔でご着席。

会場全体が和んできたところで、歌詞カードが配られ、全員アカペラで童謡「花」を大合唱。会場の雰囲気が一つになりました。そうすると、これまた予想通りではありますが、皆さんの歌心に火が付いてしまいました。予定を早め、カラオケタイムのはじまりです。



【全員で手拍子】 【みんな輪になって】

はじめは遠慮気味にちゅうちょされていた皆さんも、一人歌い出すと次々と名乗りをあげリクエスト曲殺到。裏方は予約打ち込みに大わらわ。

興が乗り出すと即席の「ならやま社中」参上。盆踊りしながらに輪になって踊りだし、さらには巧みなフラダンスに変貌。会場の男性陣もウツリ見とれておりました。最後は定番の「学生時代」「喜びも悲しみも幾年月」の大合唱。

途中では、更谷さん自作の素晴らしい「デコパージュ」作品の提供があり、参加者全員によるジャンケン大会による争奪戦。会場の熱気の鎮まる間がありませんでした。4 度目のジャンケンめでたく田代さんが作品をゲットされました。



【更谷さんと田代さん】 【古川参与締め挨拶】

最後、古川参与に、平成の時代を振り返り、来年に向かっての抱負を語っていただき、本日の忘年会をしっかりと締めくくっていただきました。

楽しい企画を考えたいただいた幹事の皆さま、大いに盛り上げていただいた参加者全員の皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

平成 30 年も残すところ後わずかとなりましたが、皆さまにとりまして来年も良き年でありませう心よりお祈り申し上げます。